

2015/8/25 (Tue.) 第94号

日本医師連盟ニュース

日本医師連盟ニュース
 発行所
 日本医師連盟
 東京都文京区本駒込2-28-16
 〒113-8621
 TEL: 03-3947-7815
 FAX: 03-3947-2662
 E-mail: info01@nichiren.jp

http://www.nichiiren.jp/

定価 1年400円 (但し日医連負担金を含む)

自見はなこ氏

自民党一次公認を発表

八月三日、自民党は来年七月の参議院議員選挙における第一次公認三十九名(選挙区二十七名、比例区十二名)、(その後二名を比例区で追加公認)を発表した。(比例区の公認候補者は別掲のとおり)

自民党は比例区では第一次公認として十四名を発表したが最終的には二十五名程度の公認候補者を擁立する見込みである。

医療関係の候補予定者として、日本薬剤師連盟推薦 藤井基之氏(現・2)、日本看護連盟推薦 高階恵美子氏(現・1)の二氏も一次公認として発表された。また、日本歯科医師連盟も新人候補者を自民党から擁立する見込みである。

自見はなこ氏は、「自民党公認をいただけましたことは全国の先生方のご支援の賜物で心からの感謝を申し上げます。引き続き全力で活動して参りますので、変わらぬご支援をお願い申し上げます」と謝意と今後の意気込みを語った。

日医連としても、今回の自民党公認を契機にさらなる活発な後援会活動を展開して参りますので、ご協力をお願い申し上げます。

八月三日、自見はなこ日医連参与を自民党は、来年七月施行予定の第二十四回参議院比例代表(全国区)選挙における公認候補とすることを発表した。

自民党公認決定



自見はなこ日医連参与

第24回参議院 比例代表(全国区)選挙 自民党公認候補者

(第一次公認) 14名 (現 8名、新 6名) (五十音順・敬称略・8月10日現在)

公認候補者	生年月日	年齢	区分	経歴
1 足立 敏之	昭和29年5月20日	61	新	元国土交通省技監
2 阿達 雅志	昭和34年9月27日	55	現	1期
3 宇都 隆史	昭和49年11月12日	40	現	1期
4 片山 さつき	昭和34年5月9日	56	現	1期
5 唐木 徳子	昭和42年1月9日	48	新	全国郵便局長会相談役
6 自見 はなこ	昭和51年2月15日	39	新	日本医師連盟参与
7 進藤 金日子	昭和38年7月7日	52	新	全国土地改良政治連盟顧問
8 園田 修光	昭和32年3月13日	58	新	全国老人福祉施設協議会代議員
9 高階 恵美子	昭和38年12月21日	51	現	1期(日本看護連盟)
10 藤井 基之	昭和22年3月16日	68	現	2期(日本薬剤師連盟)
11 堀内 恒夫	昭和23年1月16日	67	現	1期
12 増山 壽一	昭和37年8月23日	52	新	元独立行政法人 中小企業基盤整備機構総務理事
13 水落 敏栄	昭和18年2月24日	72	現	2期
14 山谷 えり子	昭和25年9月19日	64	現	2期

自見はなこプロフィール

生年月日
 1976年(昭和51年)2月15日生
 長崎県佐世保市生まれ 福岡県北九州市育ち

所属医師会
 東京都医師会・港区医師会・東京大学医師会

学歴
 1982年 長丘幼稚園卒園(福岡県福岡市)
 1988年 福岡県北九州市立霧丘小学校卒業
 1991年 明治学園中学校卒業(福岡県北九州市)
 1994年 Brookline High School, MA, USA卒業
 1998年 筑波大学第三学群国際関係学類 卒業
 2004年 東海大学医学部医学科 卒業

経歴
 2004年 東海大学医学部付属病院初期研修
 2006年 池上総合病院内科後期研修
 2007年 東京大学医学部小児科入局

同附属病院小児科勤務
 2008年 東京都青梅市立総合病院小児科
 2009年 虎の門病院小児科～現在(非常勤)
 2010年 国会議員秘書(～2013年7月)
 2013年 NPO法人日本子育てアドバイザー協会理事
 2015年 日本医師会男女共同参画委員会委員
 日本医師連盟参与
 日本小児科医連盟参与
 東海大学医学部医学科客員講師
 その他: 東京都江東区大島小児科医院非常勤
 東京都大田区池上総合病院非常勤

資格など
 日本内科学会 認定内科医
 日本小児科学会 小児科専門医
 国会議員政策担当秘書資格

その他
 賞罰: 2011年2月消防総監感謝状(人命救助)
 趣味: マラソン、読書、旅行、神社・仏閣めぐり

参議院選挙の投票方法

参議院比例区(全国区)は **候補者の名前** を書いて投票する選挙です

1枚目 それぞれの都道府県で

地元の都道府県選挙区の候補者名を

2枚目 **全国** どこでも

比例代表(全国区)も候補者名を必ずお書きください

日医連常任執行委員会・執行委員会開催

支援(後援会)活動を承認 茂木自民選対委員長が激励

日本医師連盟は、七月二十一日、日医会館において常任執行委員会と執行委員会を開催した。常任執行委員会・執行委員会では、「日医連役員等人事」、「平成二十七年度交付金」、「次期参議院議員選挙対応」について審議を行い、すべての議案が承認された。また、執行委員会では自民党の茂木敏充選挙対策委員長が来賓として出席し挨拶を行った。



日医連執行委員会で挨拶する横倉義武委員長

執行委員会は、今村聡日医連副委員長の司会で開会。冒頭、横倉義武日医連委員長から次のような挨拶があった。「執行委員会へのご出席感謝申し上げます。骨太の方針二〇一五が決定された。当初の素案で

ていくので、全国の先生方のご協力をお願いしたい。多くの諸課題が山積するなかではあるが、来年夏の参議院比例代表(全国区)選挙においては自見はなご氏の推薦を決定しているところである。本日、支援(後援会)

活動について議論賜りたいと考えているので、よろしくお願ひしたい。」

自見はなご氏を全面支援(茂木選対委員長)

「日医連・全国の医師連盟(医師会)の先生方には日頃より、地域医療を支えたいと、医療・介護・社会保障政策の実現に向けご協力をいただいておりますこと感謝申し上げます。また、本年四月の統一地方選挙等においてもご支援いただきまして、誠にありがとうございます。大変厳しい財政状況のなかで世界に冠たる国民皆保険制度を維持し、持続可能な社会保障制度をいかに構築するかが、今の日本の最重要課題と考えているので、引き続きのご指導・ご支援をお願い申し上げます。

自見はなご氏の公認を八月上旬に発表する予定であり、党としても全力で支援いたしますが、本日ご出席の全国の医師連盟(医師会)の先生方を中心に各地域で支援の輪を広げていただくことも大切と考えているので、よろしくお願ひ申し上げます。」



茂木敏充自民党選対委員長

続いて、来賓として出席した茂木敏充自民党選挙対策委員長が挨拶に立った。

「日医連・全国の医師連盟(医師会)の先生方には日頃より、地域医療を支えたいと、医療・介護・社会保障政策の実現に向けご協力をいただいておりますこと感謝申し上げます。また、本年四月の統一地方選挙等においてもご支援いただきまして、誠にありがとうございます。大変厳しい財政状況のなかで世界に冠たる国民皆保険制度を維持し、持続可能な社会保障制度をいかに構築するかが、今の日本の最重要課題と考えているので、引き続きのご指導・ご支援をお願い申し上げます。



羽生田俊参議院議員



自見はなご参与



『ガンパロー!!』

**自見はなご支援活動
サポーター名簿二百万人を目標に!**

引き続き自見はなご支援(後援会)活動について今村副委員長から「サポーター名簿については、全国で二百万人として、その他の支援(後援会)活動としては主に次のことをお願いしたい」と当面の具体的な取り組み内容について説明があった。

①支援計画の策定について。②ホームページ、広報紙等での推薦決定や自見はなご氏の政策の周知。③都市区医師連盟役員が一般会員・地方議員・企業団体への挨拶回り。リーフレット、ポスターの配布。④各種団体(都道府県や市区)への推薦依頼。⑤投票方法の周知について。⑥比例区(全国区)も個人名を書き添えて提出する。⑦医師会(医師連盟)関係の会合での広報物の配布について。⑧ソーシャルネットワーク(ツイッター、フェイスブック)の活用について。」

また横倉委員長から「今回は半年間での活動であった。今回は一年前から取り組めるので、前倒しでスケジュールを組んで、積極的な運動展開を行っていただきたい」と自見はなご支援(後援会)活動について都道府県医師連盟に協力を要請した。その際の質疑では、「自見はなご後援会を立ち上げて運動展開をしていただきたい」と意見があり、横倉委員長は「後援会組織の立ち上げについては、常任執行委員会でも提案をい

たいており、今後検討を進めしっかりと対応したいと考えている」と、自見はなご支援(後援会)活動全般について提案とあり全会一致で承認された。議事の終了後、日本医師連盟推薦の羽生田俊参議院議員から最近の国政報告と国会情勢について挨拶があった。続いて、自見はなご日医連参与から、「昨年十一月の推薦決定以来、全国の先生方に大変お世話になり誠にありがとうございます。全国の医師会や医療機関を訪問させていただき、地域医療を支える全国の先生方とお会いさせていただいておりますが、私は先生方が日々の活動を通してわが国の医療・介護を支えている現状を国民の皆さまにわかりやすい言葉で伝えていく、その役割を担わせていただきたいとの一心で誠心誠意活動をしており、また一年、残された時間を有効に使い地区医師会や医療機関へお伺いさせていただきたいと考えておりますのでこれからも変わらぬご指導・ご支援をお願い申し上げます」と決意表明がなされた。

最後に、自見はなご参与の益々の活動展開に向け尾崎治夫東京都医師政治連盟委員長の発声で「ガンパロー!!」コールが行われ執行委員会は閉会した。

日医連交付金は 昨年度と同額で承認

議事に入り、「日医連役員等人事」については、全会一致で承認された(人事の変更については別表に掲載、全体の名簿は日医連ホームページに掲載)。続いて、「日本医師連盟交付金」について審議が行われた。

今村副委員長から、「昨年度と同じく負担金の四〇%を各都道府県医師連盟に交付することとさせていただきます」と提案があり、平成二十七年度交付金については、原案どおり承認された。

また横倉委員長から「今回は半年間での活動であった。今回は一年前から取り組めるので、前倒しでスケジュールを組んで、積極的な運動展開を行っていただきたい」と自見はなご支援(後援会)活動について都道府県医師連盟に協力を要請した。その際の質疑では、「自見はなご後援会を立ち上げて運動展開をしていただきたい」と意見があり、横倉委員長は「後援会組織の立ち上げについては、常任執行委員会でも提案をい

たいており、今後検討を進めしっかりと対応したいと考えている」と、自見はなご支援(後援会)活動全般について提案とあり全会一致で承認された。議事の終了後、日本医師連盟推薦の羽生田俊参議院議員から最近の国政報告と国会情勢について挨拶があった。続いて、自見はなご日医連参与から、「昨年十一月の推薦決定以来、全国の先生方に大変お世話になり誠にありがとうございます。全国の医師会や医療機関を訪問させていただき、地域医療を支える全国の先生方とお会いさせていただいておりますが、私は先生方が日々の活動を通してわが国の医療・介護を支えている現状を国民の皆さまにわかりやすい言葉で伝えていく、その役割を担わせていただきたいとの一心で誠心誠意活動をしており、また一年、残された時間を有効に使い地区医師会や医療機関へお伺いさせていただきたいと考えておりますのでこれからも変わらぬご指導・ご支援をお願い申し上げます」と決意表明がなされた。

推薦決定や自見はなご氏の政策の周知。③都市区医師連盟役員が一般会員・地方議員・企業団体への挨拶回り。リーフレット、ポスターの配布。④各種団体(都道府県や市区)への推薦依頼。⑤投票方法の周知について。⑥比例区(全国区)も個人名を書き添えて提出する。⑦医師会(医師連盟)関係の会合での広報物の配布について。⑧ソーシャルネットワーク(ツイッター、フェイスブック)の活用について。」

また横倉委員長から「今回は半年間での活動であった。今回は一年前から取り組めるので、前倒しでスケジュールを組んで、積極的な運動展開を行っていただきたい」と自見はなご支援(後援会)活動について都道府県医師連盟に協力を要請した。その際の質疑では、「自見はなご後援会を立ち上げて運動展開をしていただきたい」と意見があり、横倉委員長は「後援会組織の立ち上げについては、常任執行委員会でも提案をい

たいており、今後検討を進めしっかりと対応したいと考えている」と、自見はなご支援(後援会)活動全般について提案とあり全会一致で承認された。議事の終了後、日本医師連盟推薦の羽生田俊参議院議員から最近の国政報告と国会情勢について挨拶があった。続いて、自見はなご日医連参与から、「昨年十一月の推薦決定以来、全国の先生方に大変お世話になり誠にありがとうございます。全国の医師会や医療機関を訪問させていただき、地域医療を支える全国の先生方とお会いさせていただいておりますが、私は先生方が日々の活動を通してわが国の医療・介護を支えている現状を国民の皆さまにわかりやすい言葉で伝えていく、その役割を担わせていただきたいとの一心で誠心誠意活動をしており、また一年、残された時間を有効に使い地区医師会や医療機関へお伺いさせていただきたいと考えておりますのでこれからも変わらぬご指導・ご支援をお願い申し上げます」と決意表明がなされた。

また横倉委員長から「今回は半年間での活動であった。今回は一年前から取り組めるので、前倒しでスケジュールを組んで、積極的な運動展開を行っていただきたい」と自見はなご支援(後援会)活動について都道府県医師連盟に協力を要請した。その際の質疑では、「自見はなご後援会を立ち上げて運動展開をしていただきたい」と意見があり、横倉委員長は「後援会組織の立ち上げについては、常任執行委員会でも提案をい

たいており、今後検討を進めしっかりと対応したいと考えている」と、自見はなご支援(後援会)活動全般について提案とあり全会一致で承認された。議事の終了後、日本医師連盟推薦の羽生田俊参議院議員から最近の国政報告と国会情勢について挨拶があった。続いて、自見はなご日医連参与から、「昨年十一月の推薦決定以来、全国の先生方に大変お世話になり誠にありがとうございます。全国の医師会や医療機関を訪問させていただき、地域医療を支える全国の先生方とお会いさせていただいておりますが、私は先生方が日々の活動を通してわが国の医療・介護を支えている現状を国民の皆さまにわかりやすい言葉で伝えていく、その役割を担わせていただきたいとの一心で誠心誠意活動をしており、また一年、残された時間を有効に使い地区医師会や医療機関へお伺いさせていただきたいと考えておりますのでこれからも変わらぬご指導・ご支援をお願い申し上げます」と決意表明がなされた。

平成27年7月21日現在

役員・執行委員等の変更について

(常任執行委員) (敬称略)

	新	←	旧
東京都	猪口 正孝	←	尾崎 治夫
神奈川県	古谷 正博	←	大久保吉修

(参 与)

新
羽生田 俊

(執行委員)

	新	←	旧
東京都	尾崎 治夫	←	野中 博*
	野中 博	←	猪口 正孝
神奈川県	澤井 博司	←	加藤 勲
	菊岡 正和	←	丸田 桂子
石川県	上田 博	←	浮田 俊彦
三重県	二井 栄	←	小林 篤
滋賀県	猪飼 剛	←	笠原 吉孝*
	越智 眞一	←	猪飼 剛

※都道府県医師連盟委員長の交代による変更

「自見はなこ先生を励ます会」を開催 全国初！鳥取県医師連盟

八月八日、全国の医師連盟で初となる「自見はなこ先生を励ます会」(鳥取県医師連盟主催)が鳥取県米子市内で開催された。当日は、約百二十名が出席し、自見はなこ先生を励ました。また、鳥取県選出の赤澤亮正内閣府副大臣、舞立昇治参議院議員も出席した。励ます会は明徳政裕鳥取県医師連盟副委員長の司会で開かれ、魚谷純鳥取県医師連盟委員

長の挨拶のあと、出席した地元選出の国会議員から激励の挨拶があった。そのうち、自見はなこ先生から、「政治を志したきっかけや国政にかける強い想い、政治活動への支援など」について、力強い決意表明とお願いの挨拶が行われた。野坂美仁鳥取県西部医師連盟委員長の発声で「ガンバロー！」コールが行われ、県内でのさらなる後援会活動の活発化を誓い、励ます会は終了した。励ます会の開催に先立つ、同日午前には、魚谷委員長同行のもとに、自見はなこ先生が県内の医療機関訪問を行った。



自見はなこ先生を励ます会



医療機関訪問 (右から) 自見はなこ参与、魚谷純鳥取県医師連盟委員長

第10回 医療政策研究会開催

七月十四日、第十回医療政策研究会(会長 武見敬三参議院議員)が自民党所属衆議院議員六十名、参議院議員十八名(代理を含む)の出席を得て、吉川貴盛事務局長司会で開催された。冒頭、西川公也副会長から「平成二十八年度予算編成に向け本日出席の先生方より忌憚のないご意見を賜りたい」との開会挨拶があり、武見敬三会長は「自民党内に財政至上主義が跋扈するなか、この勉強会を通して自民党が社会保障に対して調整能力を発揮できることを示したい」と挨拶した。今村聡日医連副委員長から日医連(日医)役員紹介後、横倉義武日医連委員長が「医療の現状と課題」と題しての講演を行い、主に骨太の方針二〇一五を中心として日医連(日医)の考え方とあるべき医療・介護の方向性について説明を行い、そのうち、出席議員と意見交換が行われた。

○主な質問や意見
・一人当たり医療費の地域間格差、ジェネリック医薬品の流通に関して。
・地域医療ビジョンが当局の意を酌んだような報道がなされることへの違和感について。
・消費税一〇%へのアップを二年後に控え、控除対象外消費税解消に向けての日医の戦略的対応の重要性に關して。
・TPP交渉の妥結が近い将来に予想されるなか、日本の医療は大丈夫であるかとの懸念。
・小児の医療費無償化の是非について。

当日は、日医連(日医)役員と社会保障、医療・介護問題に関心をもつ自民党国会議員の間で活発な意見交換が行われ有意義な会合となった。

平成二十五年二月に第一回の会合を開催。自民党の衆・参の議員で構成し、医療・介護政策、社会保障に関する諸課題について日医連(日医)との間で意見交換を行ってきた。五十七名のメンバーで発足し、診療報酬改定や政府の「骨太の方針」などに対して多くの意見や提言をまとめ成果を上げてきた。今回第十回から約四十名の先生方(自民党)が新たに加わった。

医療政策研究会

(会長…武見敬三参議院議員)



挨拶する横倉義武委員長(中央)